



1F自主避難及び生活に対する国の支援についての修正

宛先: 三宅

2011/03/30 08:33

履歴:

このメールに返信しました。

小山田さま ← OFC総括 さかもと

お疲れ様です
修正文をお送りします
アレンジ可ですので、する場合はご連絡ください。調整しましょう。

p 9 5. 住民及び国民一般に対する情報提供

「・原子力災害現地対策本部は、福島県と連携し、毎日プレス発表を実施するほか、地元テレビ2局に原子力災害現地対策本部放射線アドバイザーが3/29出演し、放射性物質にかかる住民の関心ごとや疑問点などを解説した。(4/2、4/3に放送予定)」

左 月

経産 19:42

平成23年3月11日
経済産業省
原子力安全・保安院

原子力第4報
(3月11日 18時30分現在)

15:42 福島第1原子力発電所1～5号機の全交流電源喪失により原災法10条に規定する災害発生。

16:36 福島第1原子力発電所1、2号機において、原災法15条に規定する災害発生

I. 東北電力(株)女川原子力原子力発電所

1. 運転状況

- 1号機 (52万4千kW) (地震により自動停止)
- 2号機 (82万5千kW) (定期検査で停止中)
- 3号機 (82万5千kW) (地震により自動停止)

2. モニタリングポスト等の指示値

- モニタリングポスト指示値の変化: 無
- 主排気筒モニタ指示値の変化: 無
- 3号オベフロにてエリアモニタ発報

3. その他

- (1) 1号機外部電源喪失、非常用ディーゼル発電機起動。2、3号機は外部から電源受電中
- (3) 閉じこめ機能確認済み
- (4) タービン建屋地下1階から煙発生、現在自営消防にて対応中(公設消防には通報済み)
- (5) RCICにて注水中
- (6) タービン建屋地下1Fから煙、自営消防にて対応中、二酸化炭素消火装置により対応中(17:15から)。
- (7) 重油タンク(補助ボイラ用)破損、漏れ発生
- (8) 一部モニタで機器に異常発生。他のモニタにて放射線異常がないことは確認できている。(モニタリングステーション全て危機異常、欠測中)

II. 東北電力(株)東通原子力発電所 (110万kW)

1. 運転状況

付1.2

左

平成23年3月11日
経済産業省
原子力安全・保安院

原子力第4報
(3月11日 18時30分現在)

15:42 福島第1原子力発電所1～5号機の全交流電源喪失により原災法
10条に規定する災害発生。
16:36 福島第1原子力発電所1、2号機において、原災法15条に規定
する災害発生

I. 東北電力(株)女川原子力原子力発電所

1. 運転状況

- 1号機 (52万4千kW) (地震により自動停止)
- 2号機 (82万5千kW) (定期検査で停止中)
- 3号機 (82万5千kW) (地震により自動停止)

2. モニタリングポスト等の指示値

- モニタリングポスト指示値の変化: 無
- 主排気筒モニタ指示値の変化: 無
- 3号オペフロにてエリアモニタ発報

3. その他

- (1) 1号機外部電源喪失、非常用ディーゼル発電機起動。2、3号機は外部から電源受電中
- (3) 閉じこめ機能確認済み
- (4) タービン建屋地下1階から煙発生、現在自営消防にて対応中(公設消防には通報済み)
- (5) RCICにて注水中
- (6) タービン建屋地下1Fから煙、自営消防にて対応中、二酸化炭素消火装置により対応中(17:15から)。
- (7) 重油タンク(補助ボイラ用)破損、漏れ発生
- (8) 一部モニタで機器に異常発生。他のモニタにて放射線異常がないことは確認できている。(モニタリングステーション全て危機異常、欠測中)

II. 東北電力(株)東通原子力発電所 (110万kW)

1. 運転状況

定期検査で停止中

2. その他

(1) モニタリングポスト等の指示値

モニタリングポスト指示値の変化： 無

主排気筒モニタ指示値の変化： 無

(2) 発電所では、引き続き設備点検を行っていますが、現時点では火災の報告はありません。

(3) 最大加速度 180ガル

(4) 外部電源喪失、ディーゼル発電機(A) 起動、給電中

III. 東京電力福島第1原子力発電所

1. 運転状況

1号機(46万kW)(地震により自動停止)

2号機(78万4千kW)(地震により自動停止)

3号機(〃)(地震により自動停止)

4号機(〃)(定期検査で停止中)

5号機(〃)(定期検査で停止中)

6号機(110万kW)(定期検査で停止中)

2. モニタリングポスト等の指示値

モニタリングポスト指示値の変化： 無

主排気筒モニタ指示値の変化： 無

3. その他

(1) 非常用ディーゼル発電機6Bのみ起動。全1~5号機にて全交流電源喪失、原災法10条災害発生(15:42)。運転中であつた1~3号機についてはRCICにて注水中。バッテリーは8時間もつ見込み。現在原子炉水位が確認できず、1、2号機について15条判断(16:36)

(2) 注水機能

1号：○(HPCI) 2号：○(RCIC) 3号：○(RCIC) 4号：

(3) 事務本館にてけが人が発生したとの情報あり

(4) 最大加速度 水平507ガル(3号)、垂直231ガル(3号)

(5) ECCS 起動なし。

(6) 水位

1号機：不明、2号機：+470mm、3号機：-450mm

IV. 東京電力(株)福島第2原子力発電所

1. 運転状況

- 1号機 (110万 kW) (地震により自動停止)
- 2号機 (〃) (地震により自動停止)
- 3号機 (〃) (地震により自動停止)
- 4号機 (〃) (地震により自動停止)

2. モニタリングポスト等の指示値

モニタリングポスト指示値の変化： 無
主排気筒モニタ指示値の変化： 無

3. その他

- (1) 非常用ディーゼル発電機起動
- (2) 発電所では、引き続き設備点検を行っていますが、現時点では火災の報告はありません。
- (3) 最大加速度 水平 276.6ガル (3号)、
垂直 287.7ガル (4号)
- (4) 17:35 1号機格納容器
- (5) 外部からの電源供給中。

V. 日本原子力発電(株)東海第2原子力発電所

1. 運転状況

- 1号機 (110万 kW) (地震により自動停止)

2. モニタリングポスト等の指示値

モニタリングポスト指示値の変化： 無
主排気筒モニタ指示値の変化： 無

3. その他

- (1) 非常用ディーゼル発電機起動
- (2) 電動給水ポンプで水漏れ。外部への影響調査中
- (3) 発電所では、引き続き設備点検を行っていますが、現時点では火災の報告はありません。
- (4) RCICにて水位確保。水位L2到達により HPCS 起動、現在 L8

RCICにて注入中

モニタ異常なし

外部電源喪失、DGで給電

検査官2名連絡とれていない

VI. 日本原燃 六カ所再処理施設

1. 運転状況

停止中。

2. その他

- (1) 非常用ディーゼル発電機で電力供給中
- (2) 施設では、引き続き設備点検を行っていますが、現時点では火災の報告はありません。
- (3) 地震加速度 37.4ガル

VII. その他

- 1. 運転中であった以下のプラントについては運転継続中
東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所(1, 5, 6, 7号機)
北海道電力泊原子力発電所(1, 2, 3号機)
中部電力浜岡原子力発電所(4, 5号機)

2. 三菱原子燃料(茨城県東海村)

構内にてポリエチレン容器に焦げ発見。消火中。消防に通報中。

3. JAEA 東海再処理工場

(1) 運転状況

停止中

(2) その他情報

- ・軽傷者1名発生
- ・工業用水破損

左

経産

50/10 1956

現在 (2頁)

14:46 地震発生 → 直ちに対策本部設置

14:50 院長官邸参集 (随行 甲斐さん)

- ① 女川 (震度6強) 1, 2, 3 スクラム停止 (567.5gal スクラム成功MP異常なしdg起動中)
- ② 東通 (震度5強) 定検停止中 (スクラム成功DG A起動)
- ③ 1F1, 2, 3 (6強) スクラム停止 4, 5, 6 定検停止中 (MP異常なし E CCS起動なし)
- ④ 2F (震度6強) 1~4 スクラム停止 (MP異常なし ECCS起動なし)
- ⑤ 東海第2 (震度6弱) 自動スクラム停止 (RCICで水位確保HPCS起動)
- ⑥ KK (震度4) 1, 5, 7 運転継続中 2, 3, 4 定検停止中
- ⑦ 六ヶ所 (震度5強) 非常用dgで電力供給中
- ⑧ 泊 (震度3) 1, 2, 3 継続運転中
- ⑨ 浜岡 3 定検停止中 4, 5 継続運転中 プールの溢水なし
- ⑩ GNF-J 地震に伴い停電発生 (dgは正常に稼働) MP異常なし

14:55 官房総務課に院長参集とERC立ち上げ連絡

15:15 モバイル保安院 配信予定 (同じ文書でプレス)

15:16 モバイル保安院 発出

女川津波 10m (敷地高15m)

15:15 プレス会見 (中村審議官)

16:30 次回プレス会見予定@第4特別会議室

15:42 1F (1, 2, 3) DGトリップ (10条事象) 注:事務所情報

18:00 政府調査団機 市谷から飛ぶ予定 (官邸甲斐さんより) →搭乗について検討
依頼

15:50 事業者より1F, 2FのDG不調との連絡あり

15:42 10条通報 (事業者より連絡あり) 1F6 Bのみ起動あとは起動していない (1F 1~5 全交流電源喪失 ちなみに4, 5は定検停止中)

15:42 警戒本部設置

16:02 福島OFC停電 DG立ち上がりず ERSSも伝送できず

16:04 2F 外部電源OK

16:05 三菱原子燃料 ポリ容器に焦げ見つかる。(16:09 消火)

16:10 1F1~3 RCICで注水中 (8時間程度もつ)

16:13 2F 1, 2 RCIC注水中 3 水位十分のため停止中 4 HPSC
2で注入中

16:03 プレスへ10条通報あった旨連絡

16:20 官邸リエゾンに追加派遣 (保安課 高橋)

16:30 福島への派遣者決定 (黒木審議官、山本課長、石垣室長)

- 16:45 事業者より15条通報あり(事象発生判断 16:36)
- 17:30 現地派遣組 霞が関出発
- 17:05 産業保安 政府調査団出発(17:54 市谷集合)
- 17:30 保安院は15条事態と判断 上申プロセスに入った
- 17:40 1F 4 重油タンク脇火災発生
- 17:45 プレス第3報 発出
- 18:00 政府対策本部会議開催予定
- 18:15 ERC内会議(事象進展について)
- 18:22 海江田大臣→総理大臣上申 結論に至らず(もう少し情報収集して判断すること) 従って対策本部開始も未定
- 18:25 自衛隊機1F電源車到着(到着時間は不明)電源車 1号機メタクラに接続作業中(最低1時間かかるとのこと)(計6台要請中)
- 18:30 全閣僚を対象と閣僚会議開催(官邸4階大会議室)
- 18:38 17:35に2F-1 10条判断との情報あり(詳細確認中)
- 18:33 2F-1, 2, 4 10条通報(原子炉除熱機能喪失)
- 18:48 17:15 女川1号機タービン建屋地下1階発煙→自衛消防CO2で消火
- 18:50 電源車もう1台が到着予定
- 19:05 プレス会見予定
- 19:30 ERC内にて情報共有会議(予定)
- 20:15 プレス会見予定
- (負傷者情報 被ばく者なし 負傷者(JAEA再処理 1名けが、赤チン程度 その他日本原燃、NFL、GNF、東海第二、浜岡 けが人なし)
- 19:03~22 官邸で対策会議開催
- 19:03 緊急事態宣言
- 19:20 電源車手配状況 水戸みがわ中 高圧1台、低圧1台 大宮駐屯地 低圧3台(書きかけ)
- 19:50 電源車はまだ未到着との連絡が事業者からあり

東京電力 福島第二原子力発電所

現在時刻 19時40分59秒

プラント時刻
2011年03月11日16時42分

発電所リマリ ユニット情報 環境モニタ 通報連絡情報 トレンドグラフ パラメータリスト 時系列 支援情報 警報リマリ

	1号機 (伝送異常)	2号機 (伝送異常)	3号機 (伝送異常)	4号機 (伝送異常)
プラント時刻	2011年03月11日 16時42分	2011年03月11日 16時42分	2011年03月11日 16時43分	2011年03月11日 16時42分
	「止める」機能表示	「冷やす」機能表示	「閉じ込める」機能表示	

「止める」機能

	1号機	2号機	3号機	4号機
中性子束(%)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
判断基準値 (OR全挿入時に2%以下)				
制御棒の挿入	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

「冷やす」機能

	1号機	2号機	3号機	4号機
非常用母線電圧(kV)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
非常用母線電圧(kV)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
判断基準値 (8kV以上)				
原子炉水位(mm)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
判断基準値 (トレンドグラフで判断)				
炉圧力(MPa)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
判断基準値 (トレンドグラフで判断)				
冷却材温度(°C)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
判断基準値 (トレンドグラフで判断)				

「閉じ込める」機能

	1号機	2号機	3号機	4号機
敷地境界 モニタリングポスト (nGy/h)		No.1 <input type="text"/>		
		No.2 <input type="text"/>		
		No.3 <input type="text"/>		

Excel出力
新しいドキュメントが見つかりました
BUFFALO ClipDrive USB Device

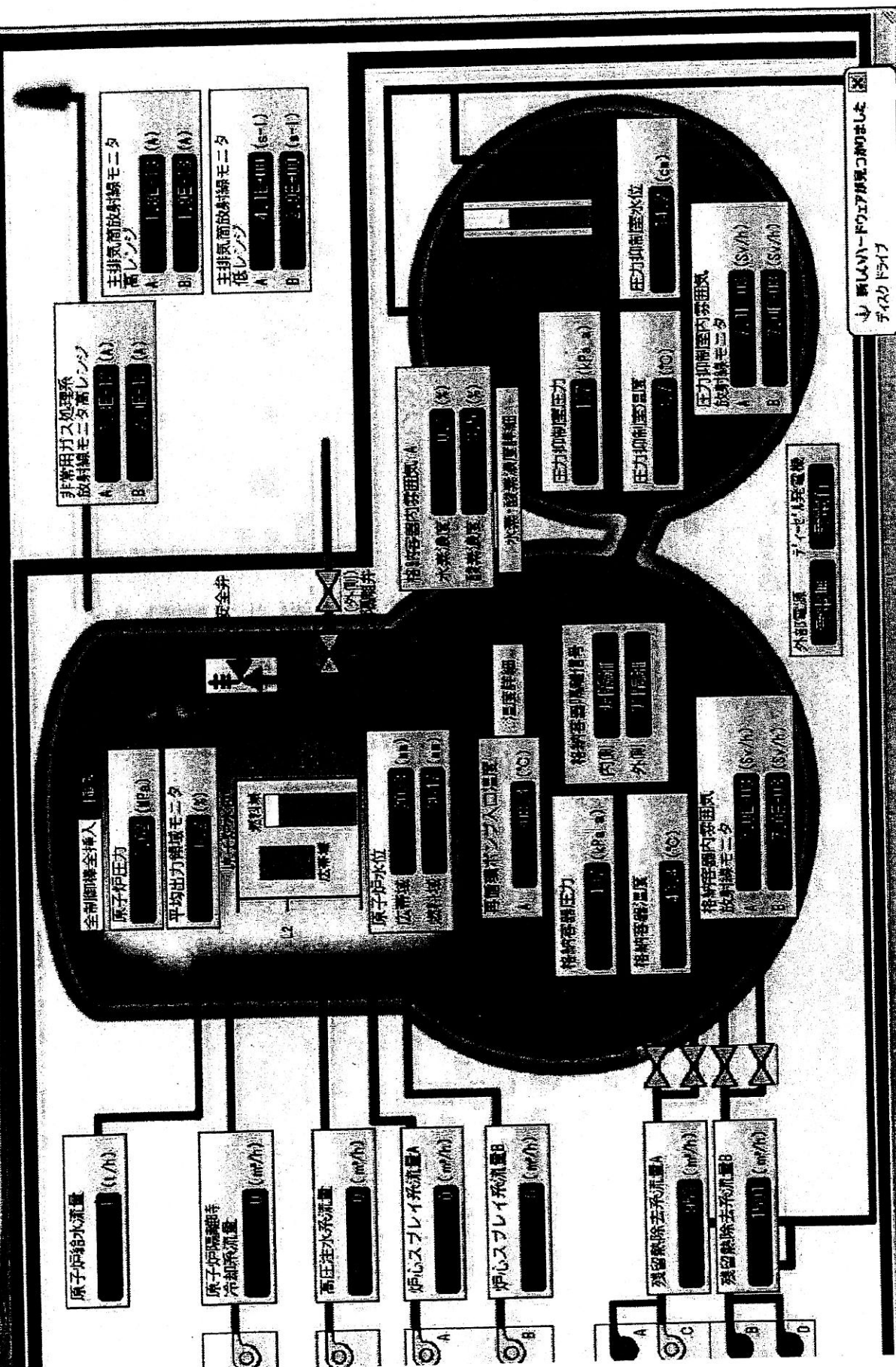
東北電力 女川原 発電所 1号機

現在時刻 19時42分10秒

プラント時刻

2011年03月11日 19時42分

発電機サマリ エネット情報 環境モニタ 通報連絡情報 トレンドグラフ パラメータリスト 時系列 支援情報 警報サマリ



原子炉炉水流量
0 (t/h)

原子炉保護用冷却系流量
0 (m³/h)

高圧注水系統流量
0 (m³/h)

炉心スプレイ系流量A
0 (m³/h)

炉心スプレイ系流量B
0 (m³/h)

残留熱除去系流量A
0 (m³/h)

残留熱除去系流量B
0 (m³/h)

全制御棒全挿入
原子炉圧力
0.02 (MPa)

平均出力領域モニタ
0 (MW)

原子炉水位
0 (m)

高圧注水入口温度
0 (°C)

格納容器圧力
0 (MPa)

格納容器温度
0 (°C)

格納容器内雰囲気放射線モニタ
A: 0.01 (Sv/h)
B: 0.01 (Sv/h)

非常用ガス処理系放射線モニタ高レンジ
A: 0 (A)
B: 0 (A)

主排気筒放射線モニタ高レンジ
A: 0 (A)
B: 0 (A)

主排気筒放射線モニタ低レンジ
A: 0.1 (s-1)
B: 0.1 (s-1)

格納容器内雰囲気A
水素濃度
0 (A)
酸素濃度
0 (B)

圧力抑制圧力
0 (MPa)

圧力抑制水位
0 (GPa)

圧力抑制室内雰囲気放射線モニタ
A: 0.01 (Sv/h)
B: 0.01 (Sv/h)

外部電源
0 (V)

↓ 画面A1-A7のエアが検見コ閉じました
ディスプレイ

経歴 20:58

海江田大臣殿

池田副大臣の福島現地対策本部入りについて

20:30頃、防衛省中江次官から連絡があり、池田副大臣の福島第一原子力発電所の原子力災害現地対策本部入りについては、

防衛省（市谷）をヘリコプター(CH47、30人乗り)にて20:55に出発、大滝根分屯基地（福島県双葉郡）に21:50到着予定で、そこから陸路にて福島第一原発に向かう（直線距離で20km）ルートが確保されました。

取り急ぎご報告申し上げます。

事務次官 松永

2/27
90/0 21:07
現在

(2頁)

- 14:46 地震発生 → 直ちに対策本部設置
14:50 院長官邸参集 (随行 甲斐さん)
- ① 女川 (震度6強) 1, 2, 3 スクラム停止 (567.5gal スクラム成功MP異常なし dg 起動中)
 - ② 東通 (震度5強) 定検停止中 (スクラム成功DG A起動)
 - ③ 1F1, 2, 3 (6強) スクラム停止 4, 5, 6 定検停止中 (MP異常なし E CCS起動なし)
 - ④ 2F (震度6強) 1~4 スクラム停止 (MP異常なし ECCS起動なし)
 - ⑤ 東海第2 (震度6弱) 自動スクラム停止 (RCICで水位確保HPCS起動)
 - ⑥ KK (震度4) 1, 5, 7 運転継続中 2, 3, 4 定検停止中
 - ⑦ 六ヶ所 (震度5強) 非常用 dg で電力供給中
 - ⑧ 泊 (震度3) 1, 2, 3 継続運転中
 - ⑨ 浜岡 3 定検停止中 4, 5 継続運転中 プールの溢水なし
 - ⑩ GNF-J 地震に伴い停電発生 (dgは正常に稼働) MP異常なし
- 14:55 官房総務課に院長参集とERC立ち上げ連絡
15:15 モバイル保安院 配信予定 (同じ文書でプレス)
15:16 モバイル保安院 発出
女川津波 10m (敷地高15m)
15:15 プレス会見 (中村審議官)
16:30 次回プレス会見予定@第4特別会議室
15:42 1F (1, 2, 3) DGトリップ (10条事象) 注: 事務所情報
18:00 政府調査団機 市谷から飛ぶ予定 (官邸甲斐さんより) → 搭乗について検討
依頼
- 15:50 事業者より1F, 2FのDG不調との連絡あり
15:42 10条通報 (事業者より連絡あり) 1F6 Bのみ起動あとは起動していない (1F 1~5 全交流電源喪失 ちなみに4, 5は定検停止中)
15:42 警戒本部設置 (現地警戒本部も同時立ち上げ)
16:02 福島OFC停電 DG立ち上がりず ERSSも伝送できず
16:04 2F 外部電源OK
16:05 三菱原子燃料 ポリ容器に焦げ見つかる。(16:09 消火)
16:10 1F1~3 RCICで注水中 (8時間程度もつ)
16:13 2F 1, 2 RCIC注水中 3 水位十分のため停止中 4 HPCS
2で注入中
16:03 プレスへ10条通報あった旨連絡
16:20 官邸リエゾンに追加派遣 (保安課 高橋)
16:30 福島への派遣者決定 (黒木審議官、山本課長、石垣室長)

- 16:45 事業者より1F-1, 2について15条通報あり(事象発生判断 16:36)
- 17:30 現地派遣組 護が関出発
- 17:05 産業保安 政府調査団出発(17:54 市谷集合)
- 17:30 保安院は15条事態と判断 上申プロセスに入った
- 17:40 1F 4 重油タンク脇火災発生
- 17:45 プレス第3報 発出
- 18:15 ERC内会議(事象進展について)
- 18:22 海江田大臣→総理大臣上申 結論に至らず(もう少し情報収集して判断すること) 従って対策本部開始も未定
- 18:25 自衛隊機1F電源車到着(到着時間は不明)電源車 1号機メタクラに接続作業中(最低1時間かかるとのこと)(計6台要請中)
- 18:30 全閣僚を対象と閣僚会議開催(官邸4階大会議室)
- 18:38 17:35に2F-1 10条判断との情報あり
- 18:33 2F-1, 2, 4 10条通報(原子炉除熱機能喪失)
- 18:48 17:15 女川1号機タービン建屋地下1階発煙→自衛消防CO2で消火
- 18:50 電源車もう1台が到着予定
- 19:13 プレス会見
- 19:30 ERC内にて情報共有会議(予定)
- 20:15 プレス会見(第5報)
- (負傷者情報 被ばく者なし 負傷者(JAEA再処理 1名けが、赤チン程度 その他日本原燃、NFI、GNF、東海第二、浜岡 けが人なし)
- 19:03~22 官邸で対策会議開催
- 19:03 緊急事態宣言発出(政府対策本部、現地対策本部設置)
- 19:20 電源車手配状況 水戸みがわ中 高圧1台、低圧1台 大宮駐屯地 低圧3台(ヘリでは無理。水戸にあるものを陸送、パトカーに先導依頼予定←20:30 情報)、ゆう柿 明和記念公園 高圧2台 低圧4台(待機状況確認中)
- 19:46 官房長官会見
- 19:50 電源車はまだ未到着との連絡が事業者からあり
- 20:30 副大臣ほか 市谷到着
- 20:35 「1F-2 RCIC停止 → 東電が住民避難検討開始」の連絡受け
- 20:50 福島県が発電所半径2kmの住民に避難指示との情報あり
- 20:55 池田副大臣 防衛省(市谷) 出発21:50 大滝根分屯基地(福島県双葉郡)に到着予定、陸路にて1Fに向かう(直線距離で20km) 予定
- 21:05 東北電力の電源車が福島 OFC に到着→発電所を優先させるよう指示
- 21:45 プレス予定(21:30時点情報)

① ②

経産
21.26
(訂正)

海江田大臣殿

池田副大臣の福島現地対策本部入りについて

20:30頃、防衛省中江次官から連絡があり、池田副大臣の福島第一原子力発電所の原子力災害現地対策本部入りについては、

防衛省(市谷)をヘリコプター(CH47、30人乗り)にて20:55に出発、大滝根分屯基地(福島県双葉郡)に21:50到着予定で、そこから陸路にて福島第一原発に向かうルートが確保されました。

取り急ぎご報告申し上げます。

本件については、
21:14出発との
連絡あり。(21:21)

事務次官 松永